

2019 新春特別セミナー

テーマ:米中貿易摩擦と東アジア域内産業協力関係の再構築

開催日:2019年3月16日(土)

開催場所: 北九州国際会議場 国際会議室

北九州市立大学中華ビジネス研究センター主催、北九州商工会議所、ジェトロ北九州貿易情報センター共催、北九州市及び(公財)北九州観光コンベンション協会協賛の新春特別セミナーが3月16日に北九州国際会議場で行われ成功裏に終わりました。

北部九州の産業界をはじめとした地域への貢献を目的として、本学大学院マネジメント研究科・中華ビジネス研究センターと交流関係にある香港中文大学、中国人民大学(並びに中央民族大学)、国立中山大学(高雄)、マカオ大学と日本銀行、山九株式会社の協力を得て、今年度の共同調査研究の成果をプレゼンとパネルディスカッション形式で報告いたしました。

北九州市立大学松尾太加志学長による主催者代表挨拶を受け、第一セッションでは「米中貿易摩擦と東アジア経済の今後」をテーマに、日本銀行国際局審議役福本智之氏による問題提起とモデレーションの下、中央民族大学長兼中国人民大学民営企業研究センター長の黄泰岩先生が「中米貿易摩擦と中日経済協力」、国立中山大学(高雄)管理学院の陳妙玲先生が「中米貿易摩擦の台湾経済への影響」、マカオ大学アジア太平洋経済管理研究所長 Jacky So 先生が「米中貿易摩擦ー貿易戦か通貨戦かー」を、それぞれテーマに報告いたしました。

第二セッションでは「東アジア地域におけるイノベーションとビジネス連携」をメインテーマに、王効平中華ビジネス研究センター長がモデレーターを務め、香港中文大学ビジネススクール牧野成史先生が「中国政府系ベンンチャーキャピタル」、王効平教授が「日中老舗企業の経営比較研究 ~イノベーションに焦点を絞って~」、マカオ大学管理学院客員准教授古田茂美先生が「日中老舗比較合同研究~存続と「地域」資本、創新と「伝統」資本~ケース・スタディ:株式会社ツムラ」、山九株式会社常務取締役奥田雅彦氏が「当社の東アジア地域におけるイノベーションとビジネス連携について」をそれぞれ報告いたしました。

各セッション毎にパネルディスカッションを行い、米中貿易摩擦の下、東アジア地域間の 産業とビジネス協力をどう進めるべきかについて知見を披露し、貴重な提言を行いました。 最後の質疑応答では会場から多数の質問が出されて、関心の高さがうかがえました。

主催者代表挨拶: 北九州市立大学 松尾 太加志 学長



第一セッション「米中貿易摩擦と東アジア経済の今後」



日本銀行国際局審議役 福本 智之氏 問題提起



中央民族大学学長、中国人民大学中国民営企業研究センター長黄 泰岩氏の講演「中米貿易摩擦と中日経済協力」



国立中山大学(高雄)管理学院教授陳 妙玲氏の講演「中米貿易摩擦の台湾経済への影響」



マカオ大学アジア太平洋経済管理研究所長 Jacky So 氏の講演「米中貿易摩擦ー貿易戦か通貨戦かー」



第二セッション「東アジア地域におけるイノベーションとビジネス連携」



香港中文大学ビジネススクール教授牧野 成史氏の講演 「中国政府系ベンンチャーキャピタル」



北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授・中華ビジネス研究センター長王 効平氏の講演「日中老舗企業の経営比較研究 ~イノベーションに焦点を絞って~」



マカオ大学管理学院客員准教授古田 茂美氏の講演「日中老舗比較合同研究~存続と「地域」資本、創新と「伝統」資本~ケース・スタディ:株式会社ツムラ」



山九株式会社常務取締役奥田 雅彦氏の講演「当社の東アジア地域におけるイノベーションとビジネス連携について」



会場から多数の質問



パネリスト 及び モデレーター

